

令和4年度日本大学理工学部 総合型選抜・海洋建築工学科
《事前課題と当日の発表》

以下の「事前課題」、「事前課題の提出方法」、「総合型選抜当日の事前課題の発表方法と発表資料」に関する説明をよく読み、解答の前に必ず「総合型選抜参考資料（総合型選抜受験相談会 概要説明 (youtube 動画, 限定公開)）」を見てから作業してください。

● **事前課題**

課題テーマ：水辺にたたずむ移動可能な『タイニーボックス』の提案

本課題のテーマである『タイニーボックス』とは直訳しますと「小さい空間」ということですが、今回の課題では持ち運ぶことができる小さなコテージみたいな空間というふうに捉えてください。あるときは自然豊かな森の中に設置して野鳥のさえずりを聞くテラスとなることが出来ます。またあるときは海岸の浜辺に設置して波を眺めるなど自然と一体となって過ごすことができる空間となります。これがタイニーボックスです。以下に3つの特徴と1つの条件を記します。これを参考にして独自の工夫をしてください。

「小ささ」:日本は全国的に暑い夏が訪れています。そんなとき、森の木陰で本を読みたいとか、音楽を聞きたいといったとき、自分だけのお気に入りの場所にコテージが建てられたらどんなにいいでしょう。しかしながら、コテージを建設するには広い土地が必要です。そこでみなさんの夢をかなえることができるのがタイニーボックスです。タイニーボックスは極めて小さい空間ですので車に積み込んで、山の高原に設置したら読書のできる書斎が完成します。またあるときは湖のほとりに設置してお茶やコーヒーを楽しめるカフェに早変わりします。小川のせせらぎの側に置くことで心地よいコワーキングスペースに変身するなど使い方を自由に発想してみてください。

「持ち運び」:移動可能なことが今回のタイニーボックスの最大の特徴です。そうすることで、設置する場所の特徴を生かした窓の開け方やハンモックを吊すことの出来る工夫、海岸の岩場の上に設置し波しぶきを防ぐ窓のデザイン、満天の星空を眺めるために開閉式の屋根にするなど様々なことを考えることができると思います。そうした空間の工夫をあなたなりに考えてください。

「環境との融合」:今回の課題であるタイニーボックスでは、必ず海や河川、湖などの水辺に隣接した敷地を設定してください。しかしながら、ボックスを地面に固定する方法や移動の仕方等を考える必要はありません。また、「トイレ」などは必ずしも必要としません。あなたが想定した敷地に応じてどのような場所であるのか、自然環境、水辺の状態はどうなっているのかについて詳細に分析してください。そしてその水環境とどのように融合しているのかについて詳細に説明してください。

「条件」:タイニーボックスは二つの空間から成り立っています。面積は、ボックスⅠが2坪(約6㎡)とし、これは室内専用空間として使用します。またボックスⅡは2坪(約6㎡)とし、屋内外のどちらにも使用できる空間とし、屋根があってもなくても結構です。ボックスⅠとⅡの位置関係は、上下左右どの位置にあっても自由とし、接していても離れていてもどちらでも結構です。また、それぞれの空間内の高さは必要な機能に応じて自由に想定してください。さらにこれらのボックスを繋ぐバルコニーを設置してください。このバルコニーの広さや形状、階段などの設置は自由に想定してください。

以上のようなタイニーボックスが、水辺の特徴を生かした場所にあつたら素敵なことだと思いませんか？本課題は小さいが故に周りの環境をどのように捉えるか、そして屋外の水辺環境との融合はどのようにしたらよいかなどを考えて欲しいと思います。

事前課題として以下の a) ～c) の条件を満足するタイニーボックスを提案し、課題①と②に解答してください。既存の施設にとらわれず、自由な発想、提案を期待します。

- a) 提案するタイニーボックスの規模は、上記の「条件」にそって設定してください。
- b) タイニーボックスを計画する敷地は、あなたの居住地域の近くや思い出の場所など、自由に選定してください。ただし、架空の場所に想定することはできません。
- c) タイニーボックスを計画する場所は、海や湖、河川などの水辺に隣接する土地に限定してください。しかしながら海や湖、河川などの水上に浮かべて設置することは出来ません。

課題①

解答用紙 A に、次の (1) ～ (3) について記述してください。解答に際しては必要に応じて添付の解答用紙を複写して使用してください。また**解答用紙 B** に、タイニーボックスを計画する敷地を自身が訪れて撮影[※]した**写真 2 枚**（サイズは自由）を貼り付け、それぞれの写真について説明文を記述してください。使用する筆記用具は自由です。

- (1) タイニーボックスを計画する敷地の都道府県・市区町村名および地名、特徴（海辺や河川や湖などの水辺の地形、交通の状況など）
- (2) その敷地を選定した理由
- (3) その地域にふさわしいタイニーボックスの使い方、理想的と思われる使われ方

※ 新型コロナウイルス感染症対策の観点から現地に訪れる事が困難な場合、文献や雑誌、インターネット上の情報（写真画像、GoogleMap や GoogleEarth 等）を活用可能です。その際は、引用した Web ページの URL アドレス等を記載して下さい。

また、実際に現地を訪れる際は安全に十分注意してください。

課題②

解答用紙 C に、次の (1) ～ (3) について記述してください。解答に際しては、必要に応じて添付の解答用紙を複写して使用してください。また**解答用紙 D** に、あなたが構想するタイニーボックスの全体が分かるイメージ図および内部空間の状況が分かるイメージ図を描画し、それぞれの図に対して主な特徴を 60 文字程度で記述してください。使用する筆記用具は自由です。

（※ 図はパソコンやプリンターを用いず、必ず志願者本人が手描きにて描いて下さい。なお描画の際には、定規・コンパス等を使用してもかまいません。また、彩色する場合には、色鉛筆を用いてください）

- (1) 提案するタイニーボックスの特徴（規模や形状、タイニーボックス内あるいは敷地にふさわしい機能、周辺環境との関係性など）
- (2) 提案するタイニーボックスについて、あなたが工夫した点や特徴について記してください。
- (3) 今回の提案結果を踏まえて、今回計画されるタイニーボックスのあり方についてのあなたの考えなどを示してください。

※解答用紙は A～D までを 1 つに束ね、解答用紙の下中央にページ通し番号を記入してください。

● 事前課題の提出方法

- 1) 事前課題は、課題①と課題②の2つです。それぞれの解答をあわせて、表紙に示した左上1カ所をクリップ留めにして提出してください。解答は提出前に必ず全てコピーをとって各自で保管してください。上記をA4サイズ用の紙5枚以内に納めて下さい。したがって、複写してページを増やせるのは解答用紙Aまたは解答用紙Cのいずれか1枚です。
- 2) 提出締切日は、《志願者の皆さんへ》(郵送資料①)を参照してください。
- 3) 事前課題の郵送は、同封したレターパックプラスを使ってください。郵送方法は同封の「課題(レターパックプラス)の返送方法について」(郵送資料④)の指示に従ってください。

● 総合型選抜当日の事前課題の発表方法と発表資料

総合型選抜当日に、上記の「事前課題」の課題①と課題②をもとに作成する「発表資料」(A2判2枚)でプレゼンテーション(発表)していただきます。プレゼンテーションの内容、方法は以下の通りです。

- 1) プレゼンテーションの持ち時間は5分間です。その後、面接官から10分間程度の口頭試問が行われます。
- 2) 発表には「発表資料」を使用します。「発表資料」は次の要領で作成し、試験当日に持参してください。この資料は発表後に提出していただきます(返却しません)。「発表資料」が未完成の場合は大きな減点になりますので注意してください。作成の前に、必ず「総合型選抜参考資料(総合型選抜受験相談会 概要説明(youtube 動画, 限定公開))」を見てください。
 - ※ A2判(420mm×594mm)の用紙を2枚使用し、それぞれ縦使いとします。2枚とも用紙の裏面に受験番号と氏名を記載してください。
 - ※ 課題①および課題②で取り組んだ内容を踏まえて、自身が提案する『タイニーボックス』について、説明・発表用の資料として作成してください。
 - ※ 表現方法は自由です。説明文のほかに、スケッチや写真、図、表を使用するなど各自で工夫し、「他者に伝える」ための資料を作成してください。
 - ※ 説明文は、要点が分かるように記述し、文字の大きさは、約1m離れた所からでも見えるよう1cm×1cm程度以上を目安としてください。(文字や図は手書きのみとします)
- 3) 面接室には発表資料のA2版2枚をクリップ留めするボードとクリップが用意されています。
- 4) 発表時にメモを参照することや、原稿を読み上げるような発表はできません。事前に、時間内(5分間)で発表できるように十分に練習をしてきてください。
- 5) 事前課題等の提出物は、文章や図も全て志願者本人が手書きしたものに限り、パソコンやプリンターを使ったものは認めません。手書きであれば筆記用具、定規等の使用は自由です。
- 6) プレゼンテーションの際、指し棒は使用できません。
- 7) マスク着用にてプレゼンテーションしていただきます。明瞭な発表ができるように練習をしてきてください。

以上